

大学生活とキャリアデザイン

大学生活の意義

社会に出るための大切な準備期間

大学は学問の場であると同時に、社会人になるための準備期間でもある。自分自身の将来について、少しずつ考えていこう。将来について考えることが、これからの大学生活を充実させることにつながる。

充実した大学生活を送るために

大学は、学問の場であると同時に、社会人になるための準備期間でもあります。といっても、今からマナーを身につけたり、挨拶の仕方を覚えたり、時間を守るといったことを指しているわけではありません。

そういったことも大切なことの一部ですが、それ以上に、充実した大学生活を送ることに興味をもつようにしましょう。卒業したときに、自分は成長できたという手ごたえを実感することが、自信につながり、社会の中で生きていくうえでの大きな財産となります。

充実した大学生活を送るためには、あなた自身の将来の生き方（＝キャリア）について考え、設計図を作る（＝デザイン）ことが役に立ちます。

キャリアデザインの進め方

1年次では、大学生活のテーマを見つけることが最も重要な作業となります。そのためには、自分自身の強みや興味・関心を知る必要があります。強みや興味・関心は、高校生活までに培われたことがベースとなるので、それまでの自分自身についても、理解を深めておいた方が良いでしょう。

2年次では、「やりたいこと」や「できること」をすべて経験するつもりで行動しましょう。1年次では、まだ自分が何をやりたいのか、はっきりしない状態の人が多いです。一方、3年次になると、ある程度進路を絞り込み、具体的に対策を行っていかねばなりません。本当に大学生活を楽しめるのは2年次です。この時期に力を入れたことから、将来の進路が見えてくることもあります。

3年次の後半から4年次の前半は、希望の進路を実現するために、就職活動や進学準備を行います。4年次の後半は、卒論など、大学生活を集大成する活動が中心です。

ここで示したのは、あくまで標準的な例です。大学院に進学する人が多い理工学部の場合は、少し事情が異なるでしょう。理工学部では、所属する研究室によって、その後の過ごし方が変わってくるため、どの時点で意思決定しなければならないか、調べておきましょう。

- 将来について考えることが、大学生活を充実させる。
- 大学生活は短い。今すぐ、キャリアデザインをはじめよう。

また、司法試験や公認会計士試験、国家公務員総合職試験の受験を予定している人は、どのように対策を進めるか、早くから考えておきましょう。

大学生活は長いようで短い

大学生活を社会に出るための準備期間だと考えると、意外と短いことに気がついていただけたでしょうか。流されて過ぎてしまう時間が長くなればなるほど、大学生活は欲求不満を残したまま、過ぎていってしまいます。今の自分の状況を“冷静”に見つめ、将来について“熱く”考える時間をもってほしいのです。

そのために、この『キャリアデザイン・ノート』が、何らかのお役に立てるはずですよ。

